介護福祉学科

教育目的

介護に関する知識及び技術を教授し，良識ある人格の形成に努めるとともに，社会福祉の増進に寄与しうる有能な人材を育成する。

教育目標

① 尊厳を支えるケアの実践
② 現場で必要とされる実践的能力
③ 自立支援を重視し，これからの介護ニーズ、政策にも対応できる
④ 施設・地域（在宅）を通じた汎用性ある能力
⑤ 心理的・社会的支援の重視
⑥ 予防からリハビリテーション，看取りまで，利用者の状態の変化に対応できる
⑦ 多職種協働によるチームケア
⑧ 一人でも基本的な対応ができる
⑨ 「個別ケア」の実践
⑩ 利用者・家族、チームに対するコミュニケーション能力や的確な記録・記述力
⑪ 関連領域の基本的な理解
⑫ 高い倫理性の保持

学　年　別　到　達　目　標

	１学年	２学年
目標	1　人間の尊厳を基盤として,他者に共感でき,相手の立場に立って考えられる姿勢を身につける。 2　介護の基礎的な共通知識･技術を習得する。 3　介護に関する社会保障の制度,施策についての基本的理解ができる。 4　円滑なコミュニケーションのとりかたの基本を身につける。 5　的確な記録・報告の方法を身につける。 6　職業倫理を養う。	1　根拠に基づいた介護実践を身につける。 2　介護を必要とする人の潜在能力を引き出し，活用・発揮させることの意義について理解する。 3　利用者本位のサービスを提供するため，他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解できる。 4　他職種の役割を理解し，チームに参画する能力を養う。 5　利用者のニーズを的確に把握し，自立支援サービスを提供できる能力を身につける。